

「じゃらん宿泊旅行調査 2016」



- 2015年度の宿泊旅行実施率は56.4%、前年度より▲0.5ポイント、2年連続減少
- 年間旅行回数の平均は2.86回と増加し、延べ宿泊数は前年度比5.9%増
- 「一人旅」は17.5%、11年連続増加。理由は「ひとりの方が自由で気楽」(67.0%)が突出

株式会社リクルートライフスタイル(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:浅野 健)に設置された観光に関する調査・研究、地域振興機関「じゃらんリサーチセンター」(センター長:沢登 次彦)は、この度、全国1万5584人の宿泊旅行者を対象に「じゃらん宿泊旅行調査2016」を実施しました。この調査は、観光などを目的とした宿泊を伴う国内旅行実態を把握するために行っている調査で、出張・帰省・修学旅行などを除いたマーケットの動向を調べています。2015年度(2015年4月~2016年3月)における国内宿泊旅行の行き先や回数、旅行費用などを調査し、今年で12回目の実施となります。主な結果は以下の通りです。

TOPICS

【延べ宿泊旅行者数推計】

- 2015年度(2015年4月~2016年3月)の宿泊旅行実施率は56.4%、前年度より微減
- 宿泊旅行実施者の1年間の旅行実施回数は2.86回、前年度より0.07回増加
- 延べ宿泊旅行者数は1億5313万人回。延べ宿泊数は2億6903万人泊で、前年度比5.9%増

.....P3

【宿泊旅行の費用総額】

- 宿泊旅行にかけられた費用総額は約7.8兆円。前年度比で4.4%増と大きな伸び
- 1回(大人1人あたり)の宿泊旅行にかかった費用は前年度より1,600円増加し、5万円超え

.....P4

【同行形態】

- 「一人旅」は2004年度の調査開始以来、11年連続増加し、17.5%
- 20~34歳男性の約3割が「一人旅」、35~49歳男性でも24.8%
- 一人旅の理由は「ひとりの方が自由で気楽」が67.0%で突出

.....P5~6

【都道府県別の延べ宿泊旅行者数と増減】

- 延べ宿泊旅行者数増加率の高い都道府県、1位は富山県。9位には石川県もランクインし、北陸エリアが上昇
- ブロック別の増減では、関東から甲信越・北陸への増加が顕著、北陸新幹線効果とみられる

.....P7

【テーマ別・都道府県魅力度ランキング】

.....P9-10

▶ 地元ならではのおいしい食べ物が多かった	1位	石川県	2位	北海道	3位	沖縄県
▶ 魅力のある特産品や土産物が多かった	1位	沖縄県	2位	高知県	3位	北海道
▶ 魅力的な宿泊施設が多かった	1位	大分県	2位	沖縄県	3位	熊本県
▶ 地元の人のホスピタリティを感じた	1位	沖縄県	2位	長崎県	3位	高知県
▶ 子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	和歌山県
▶ 若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	大阪府
▶ 大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	長崎県
▶ 現地で良い観光情報を入手できた	1位	沖縄県	2位	奈良県	3位	京都府

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートライフスタイル 広報担当 土蔵 亜由美 TEL:03-6835-2639/E-mail:a_tokura@r.recruit.co.jp

調査概要

◎ 調査名 じゃらん宿泊旅行調査2016

◎ 調査方法 インターネットによる調査

■ 1次調査

- ① 調査目的 全国の宿泊旅行実施者を抽出することに加え、性・年代別の宿泊旅行実施率を知るために実施した
- ② 調査時期 2016年4月1日（金）～12日（火）
- ③ 調査対象 全国20～79歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）
- ④ 配信数 379,257件
- ⑤ 調査内容 2015年度（2015年4月～2016年3月）1年間の国内宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の有無について
- ⑥ 回収数 70,000件（回収率18.5%）
- ⑦ 1次調査集計対象者数 20,000件
 - ※2次調査において都道府県別、性・年代別の割付にあった回収が得られるように配信した
 - ・配信数と割付について
2次調査のセル別目標回収数は、『平成27年 国勢調査』の都道府県別・性・年代別の人口におおむね従うように47都道府県を5ランクに分けサンプル数を割り付けて配信した
ランクごとに6:5:3:2:1の割合で、合計約15,400件の回収を目標とした
 - ・2次調査の配信数は、ウェイトバック値のバランスをなるべくそろえるために、県別に均等割付ではなく、ランクを設けて割付を行った上で、1次調査および追加調査の旅行実施者39,417件を都道府県ごとに分配し、サンプル数を割り付けて配信した
 - ※回収された70,000件のうち都道府県別・性・年代別に割付を行い20,000件を抽出。性・年代別宿泊旅行実施率を算出
- ⑧ 2次調査対象件数 39,085件

■ 2次調査

- ① 調査目的 全国の宿泊旅行実施者に対して、宿泊旅行の内容を知るために実施した
- ② 調査時期 2016年4月8日（金）～25日（月）
- ③ 調査対象 39,417件（うち、同居家族モニター332件）
 - ・1次調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人：39,085件
 - ・追加調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人のうち、調査協力が得られた60歳以上の家族本人：332件
 - ※調査回収難度が高い60歳以上の回収数を増やすために追加調査を実施した。追加調査は株式会社マクロミルの登録モニターのうち60歳以上の家族と同居しているモニターを対象として、該当家族が同席する上で回答という条件で実施した（回収数10,000件<配信数55,304件 回収率18.1%>、2次調査対象者数332件）
- ④ 配信数 28,420件（うち、同居家族モニター60件）
 - ※配信数は対象者の中から都道府県別、性・年代別の割付にあわせてランダムに抽出した
- ⑤ 調査内容 昨年度1年間に実施したすべての宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の行き先と回数について、また1人最大3件までの個別宿泊旅行について、具体的な内容を調査した
- ⑥ 回収数 15,629件（回収率55.0%）
- ⑦ 有効回答数 15,584件（うち、同居家族モニター31件、旅行件数ベース30,951件）

※集計・分析手法について

はじめに国勢調査平成27年10月1日現在の人口速報集計（総務省統計局発表）および1次調査結果を用い、全国の宿泊旅行者の母集団を推計した。次に、2次調査の集計・分析にあたり、推計された宿泊旅行者の母集団における都道府県別、性・年代別構成比に基づいてウェイトバックを行い、構成比のずれを補正している
また今回は60歳以上の登録モニター数が少ない県について、60歳以上の家族と同居している登録モニターに代理回答を実施、2次調査の調査対象として追加した

2015年度の宿泊旅行実施率は56.4%と前年度より微減。一方、1回あたりの平均宿泊日数に伸びがみられ、延べ宿泊数では前年度比5.9%増。

2015年度の1年間に宿泊旅行（※1）を行った人の割合は前年度比0.5ポイント減の56.4%で、過去最も低かった震災後2012年度に続き2番目に低い結果となった。一方、実施者における年間平均旅行回数は2.86回と前年度比0.07回増加。宿泊旅行1回あたりの平均宿泊数は1.75泊となり、前年度を0.07泊上回る。このため延べ宿泊旅行者数（※2）は前年度比で1.3%の上昇となり、1億5313万人泊、延べ宿泊数（※3）は2億6903万人泊、前年度比5.9%増と推計される。性・年代別では、20～34歳で延べ宿泊旅行者数が減少傾向、特に女性での減少幅が3.8%と顕著。

- ※1 宿泊旅行・・・国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く。ただし、友人・知人宅、車中泊、キャンプなど宿泊施設を利用しない場合でも宿泊を伴う旅行であれば含める
 - ※2 延べ宿泊旅行者数・・・推計人口 × 宿泊旅行実施率 × 宿泊旅行実施者の年間平均旅行回数
 - ※3 延べ宿泊数（人泊）・・・延べ宿泊旅行者数 × 宿泊旅行実施者の1回の旅行あたり平均宿泊数
 - ※4 宿泊数の設問形式を2014年度から変更。主なエリアの宿泊数と他エリア、他の都道府県の宿泊数を分けて尋ね、それぞれ合算して平均宿泊数を算出
- よって、2013年度以前の平均宿泊数、延べ宿泊者数（斜体の部分）は直接は比較できない参考値

◇延べ宿泊旅行者数の推計方法

※推計値の算出は四捨五入していない実データで行っている

	H27国勢調査人口<速報>	調査結果				推計値		
	人口 (万人) <A>	宿泊旅行実施率 (%) 	宿泊旅行実施者の年間平均旅行回数 (回) <C>	宿泊旅行実施者の1回の旅行あたり平均宿泊数 (泊) <D>	実宿泊旅行者数 (万人) A*B	延べ宿泊旅行者数 (万人回) A*B*C	延べ宿泊数 (万人泊) A*B*C*D	
[2015年度]全国20～79歳男女	9,498	56.4	2.86	1.75	5,358	15,313	26,903	
	前年度との差→	▲ 0.5	0.07	前年度との差→	▲ 62	203	1,506	
			前年度比→		▲ 1.2%	1.3%	5.9%	
[2014年度]全国20～79歳男女	9,520	56.9	2.79	1.68	5,420	15,110	25,397	
[2013年度]全国20～79歳男女	9,557	57.5	2.84	1.60	5,491	15,599	24,972	
[2012年度]全国20～79歳男女	9,598	55.8	2.71	1.61	5,354	14,505	23,445	
[2011年度]全国20～79歳男女	9,646	57.6	2.64	1.63	5,561	14,686	23,987	
[2010年度]全国20～79歳男女	9,672	56.7	2.73	1.64	5,489	15,020	24,686	
[2009年度]全国20～79歳男女	9,653	60.3	2.79	1.65	5,819	16,239	26,778	
[2008年度]全国20～79歳男女	9,688	63.1	2.84	1.68	6,110	17,355	29,235	
[2007年度]全国20～79歳男女	9,707	63.8	2.83	1.69	6,196	17,514	29,604	
[2006年度]全国20～79歳男女	9,686	64.7	2.77	1.69	6,269	17,366	29,325	
[2005年度]全国20～79歳男女	9,722	66.1	2.78	1.72	6,424	17,875	30,856	
[2004年度]全国20～79歳男女	9,707	65.4	2.73	1.68	6,350	17,343	29,024	

※人口について、次の統計値を用いて調査を行っています。

2013年度：H25年10月1日現在人口推計
2009年度：H21年10月1日現在人口推計
2005年度：H16年10月1日現在人口推計

2012年度：H24年10月1日現在人口推計
2008年度：H20年10月1日現在人口推計
2004年度：H15年10月1日現在人口推計

2015年度：H27年国勢調査<速報>
2011年度：H23年10月1日現在人口推計
2007年度：H19年10月1日現在人口推計

2014年度：H26年10月1日現在人口推計
2010年度：H22年国勢調査<速報>
2006年度：H17年10月1日現在国勢調査人口

◇性・年代別

延べ宿泊旅行者数の推移

	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
全国20～79歳男女	17,343	17,875	17,366	17,514	17,355	16,239	15,020	14,686	14,505	15,599	15,110	15,313
前年度比	-	▲ 3.1%	▲ 2.8%	0.9%	▲ 0.9%	▲ 6.4%	▲ 7.5%	▲ 2.2%	▲ 1.2%	7.5%	▲ 3.1%	1.3%
20～34歳 / 男性	2,219	2,201	2,036	2,075	1,975	1,879	1,612	1,608	1,450	1,537	1,553	1,545
前年度比	-	▲ 0.9%	▲ 7.5%	1.9%	▲ 4.8%	▲ 4.9%	▲ 14.2%	▲ 0.2%	▲ 9.9%	6.0%	1.1%	▲ 0.5%
20～34歳 / 女性	2,319	2,284	2,214	2,102	2,074	1,876	1,802	1,705	1,648	1,779	1,691	1,627
前年度比	-	▲ 1.5%	▲ 3.1%	▲ 5.1%	▲ 1.4%	▲ 9.5%	▲ 3.9%	▲ 5.4%	▲ 3.4%	8.0%	▲ 4.9%	▲ 3.8%
35～49歳 / 男性	2,045	2,175	1,833	2,106	2,084	2,069	1,888	1,902	1,864	2,038	2,028	2,128
前年度比	-	6.3%	▲ 15.7%	14.9%	▲ 1.0%	▲ 0.7%	▲ 8.7%	0.7%	▲ 2.0%	9.3%	▲ 0.5%	4.9%
35～49歳 / 女性	1,963	2,017	1,847	1,900	1,856	1,841	1,777	1,711	1,669	1,851	1,776	1,823
前年度比	-	2.7%	▲ 8.4%	2.9%	▲ 2.3%	▲ 0.8%	▲ 3.5%	▲ 3.7%	▲ 2.5%	10.9%	▲ 4.0%	2.6%
50～79歳 / 男性	3,959	4,472	4,424	4,310	4,414	3,946	3,578	3,601	3,543	3,941	3,795	3,889
前年度比	-	13.0%	▲ 1.1%	▲ 2.6%	2.4%	▲ 10.6%	▲ 9.3%	0.7%	▲ 1.6%	11.2%	▲ 3.7%	2.5%
50～79歳 / 女性	4,837	4,726	5,013	5,022	4,952	4,628	4,362	4,158	4,331	4,453	4,266	4,301
前年度比	-	▲ 2.3%	6.1%	0.2%	▲ 1.4%	▲ 6.5%	▲ 5.7%	▲ 4.7%	4.2%	2.8%	▲ 4.2%	0.8%

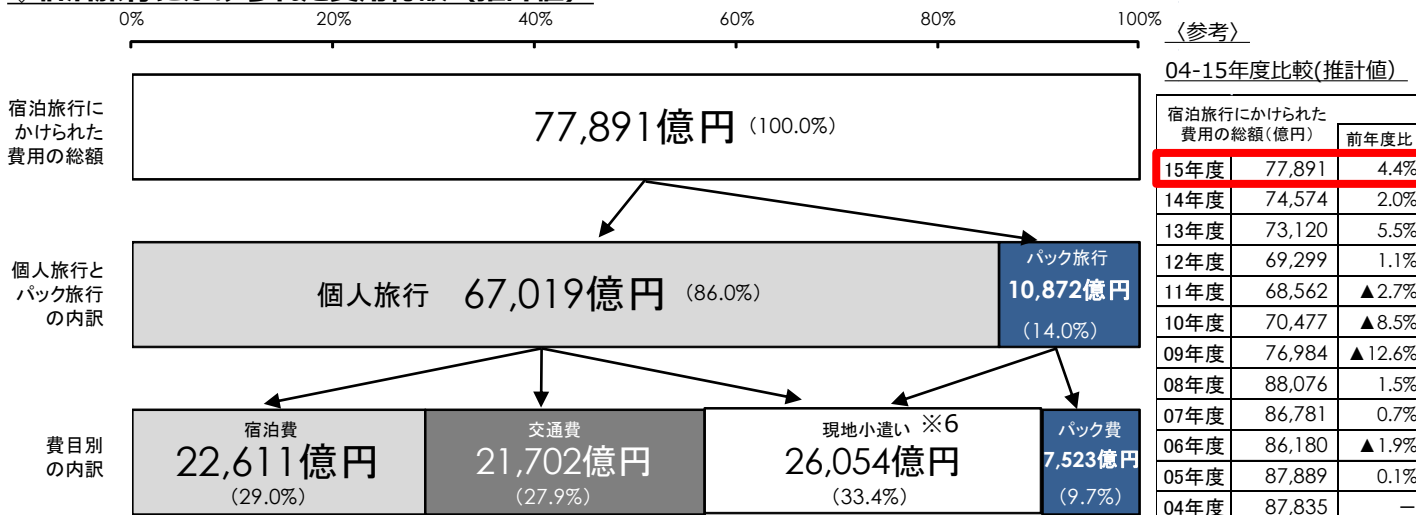
TOPIC 宿泊旅行の費用総額

宿泊旅行にかけられた費用総額は約7.8兆円。前年度比で4.4%増と大きな伸び。
1回（大人1人あたり）の宿泊旅行にかかった費用は前年度より1,600円増加し、5万円を超えた。

1回あたりの宿泊旅行費用（※5）は、前年度4万9,200円から5万800円と1,600円増加した。パック旅行は現地小遣いが-1,200円となり、総額においても減少した。一方、個人旅行（※6）では宿泊費が+800円、交通費が+400円、現地小遣いが+900円と支出額がいずれも増加した。なお旅行手配は、個人旅行比率が89.5%となり、さらにシェアを拡大した。

- ※5 1回の宿泊旅行にかかった費用（大人1人あたり）・・・1回の宿泊旅行にかかった費用について、個人旅行の場合、1人あたりの宿泊費・交通費・現地小遣いの合計。パック旅行の場合、1人あたりのパック費・現地小遣いの合計
- ※6 20歳未満の子供を連れた旅行の場合は、全員でかかった費用を同行した大人の人数で割っている
- ※6 個人旅行・・・個人で宿を手配した旅行で、旅行会社を通して宿を手配した場合も含む

◇宿泊旅行にかけられた費用総額（推計値）



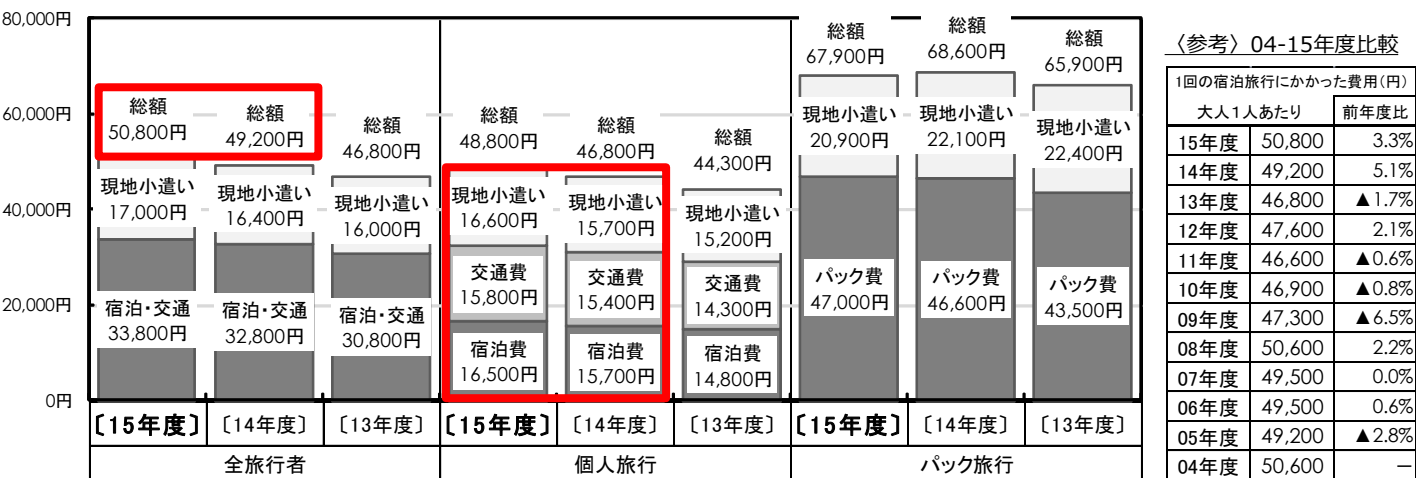
04-15年度比較(推計値)

宿泊旅行にかけられた費用の総額(億円)	前年度比
15年度	77,891 4.4%
14年度	74,574 2.0%
13年度	73,120 5.5%
12年度	69,299 1.1%
11年度	68,562 ▲2.7%
10年度	70,477 ▲8.5%
09年度	76,984 ▲12.6%
08年度	88,076 1.5%
07年度	86,781 0.7%
06年度	86,180 ▲1.9%
05年度	87,889 0.1%
04年度	87,835 -

※6 現地小遣い・・・旅行先での飲食・買い物、遊興費、目的エリア内での移動費用を含む。

◇1回の宿泊旅行にかかった費用（大人1人あたり）

※金額については、百の位までの四捨五入で示しているため、合計が合わない場合があります。



〈参考〉04-15年度比較

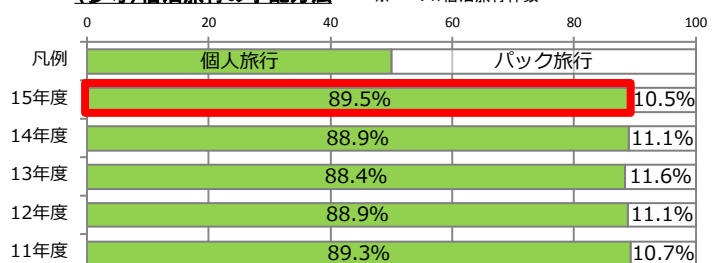
1回の宿泊旅行にかかった費用(円)	大人1人あたり	前年度比
15年度	50,800	3.3%
14年度	49,200	5.1%
13年度	46,800	▲1.7%
12年度	47,600	2.1%
11年度	46,600	▲0.6%
10年度	46,900	▲0.8%
09年度	47,300	▲6.5%
08年度	50,600	2.2%
07年度	49,500	0.0%
06年度	49,500	0.6%
05年度	49,200	▲2.8%
04年度	50,600	-

<全国の宿泊旅行費用総額の推計方法>

- ①集計データより全国の性・年代別の個人旅行とパック旅行の延べ宿泊旅行者数を推計
- ②全国の性・年代・手配方法(個人orパック)別の旅行費用の平均値(単価)を算出
- ③全国の性・年代・手配方法別の延べ宿泊旅行者数に単価を乗じ、性・年代・手配方法別の費用総額を算出
- ④性・年代別の費用総額の結果を積み上げて全国の宿泊旅行費用総額を算出

〈参考〉宿泊旅行の手配方法

※ベース: 宿泊旅行件数



「一人旅」は調査開始以来、11年連続増加し17.5%。20～34歳男性の約3割が「一人旅」、35～49歳男性でも24.8%。

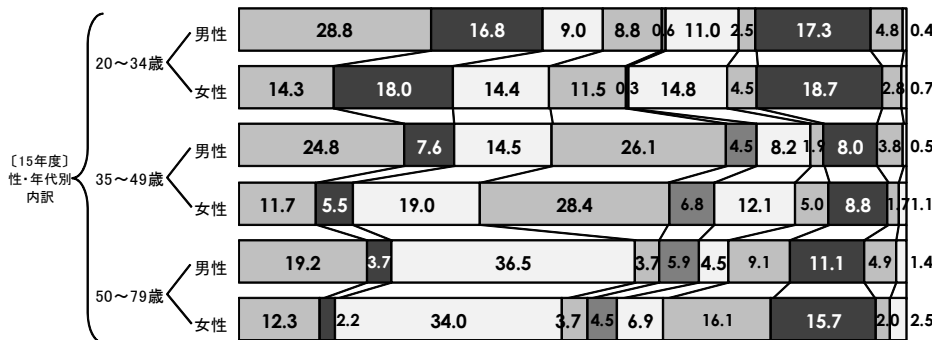
最も割合が高いのは「夫婦二人での旅行」で25.3%。次いで「一人旅」が17.5%と続く。「一人旅」は前年度からさらに数値を伸ばし、調査開始以来11年連続の増加。性・年代別で見ると、男性20～34歳では3割近くを占める。35～49歳でも24.8%と高いが、どの世代においても増加傾向にある。

◇ 宿泊旅行の同行形態（単一回答）

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数>

※出張・帰省・修学旅行などによる宿泊旅行は含まない

	一人旅	恋人との旅行	夫婦二人での旅行	小学生以下の子ども連れの家族旅行	中学生以上の子ども連れの家族旅行	親連れの家族旅行	その他の家族旅行	友人との旅行	職場やサークルなどの団体旅行	その他
[15年度] 全体	17.5	7.0	25.3		11.2	4.2	8.5	8.4	13.2	3.3
[14年度] 全体	15.9	7.3	24.5		11.9	4.2	8.2	8.9	13.9	3.8
[13年度] 全体	15.4	7.0	24.8		11.7	4.3	8.4	9.1	13.8	3.8
[12年度] 全体	14.5	7.2	24.1		12.7	4.3	7.9	9.2	13.8	4.4
[11年度] 全体	14.1	7.4	24.5		12.6	4.0	8.0	8.8	14.3	4.5
[10年度] 全体	13.1	7.2	24.4		12.8	3.9	7.8	9.0	15.3	4.7
[09年度] 全体	12.9	7.4	24.3		12.4	3.7	7.7	9.3	15.2	5.2
[08年度] 全体	12.5	7.4	24.2		12.0	3.6	7.6	9.3	15.3	5.8
[07年度] 全体	12.0	7.3	23.8		12.4	3.7	7.2	9.3	15.9	6.1
[06年度] 全体	11.2	7.7	24.0		12.8	3.5	7.1	9.5	16.4	5.7
[05年度] 全体	10.8	7.7	23.6		13.5	3.7	7.0	9.5	15.6	6.4
[04年度] 全体	10.5	8.1	22.4		14.6	4.3	7.3	8.6	15.3	5.8



◇ 「一人旅」構成比の推移

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数>

性・年代別	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
20～34歳	男性	14.9	17.7	19.5	20.3	20.1	21.6	20.9	23.3	23.2	26.1	28.8
	女性	7.2	8.2	8.7	8.6	9.2	10.3	10.0	10.7	10.2	11.6	14.3
35～49歳	男性	12.3	13.7	13.9	15.2	15.7	16.7	18.4	18.5	20.9	21.9	24.8
	女性	5.8	6.7	6.7	7.3	7.7	7.4	9.4	8.2	8.0	9.7	11.7
50～79歳	男性	13.6	12.5	12.2	13.1	14.6	14.1	14.1	17.4	16.9	17.7	19.2
	女性	8.9	8.1	8.8	9.5	9.6	10.3	9.8	9.9	11.3	11.0	12.3

【参考】一人旅の理由

20～34歳男性では、この1年に実施した旅行が「すべて一人旅だった」という人が16.3%。独身層が高く19.1%。一人旅の理由は「ひとりの方が自由で気楽」。

この1年間に「一人旅」の経験を尋ねたところ、全体では「『一人旅』には行っていない」が71.2%を占めたが、20～34歳の男性では「行った旅行はすべて『一人旅』だった」が16.3%、ライフステージ別で見ると独身層は19.1%が「行った旅行はすべて『一人旅』だった」と回答している。一人旅に出る理由としては「ひとりの方が自由で気楽に旅ができるから」（67.0%）が突出。

◇この一年間の「一人旅」実施有無

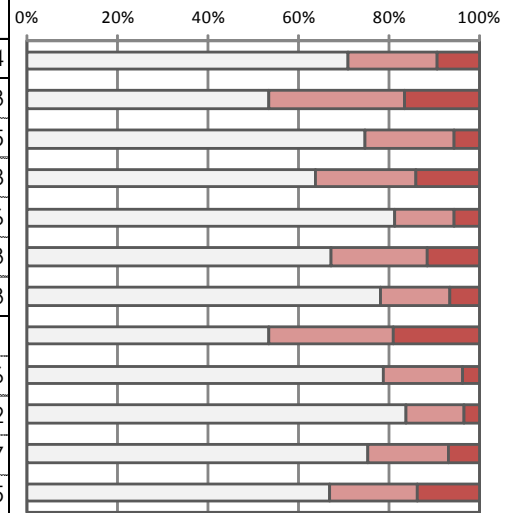
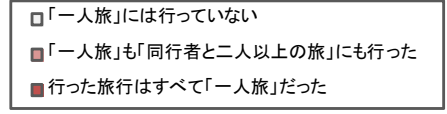
（単一回答）

<ベース：1次調査集計対象2万人のうち、1年以内に

国内宿泊旅行を実施した人ベース>

※出張・帰省・修学旅行などによる宿泊旅行は含まない

		この1年以内に		
		「一人旅」には行っていない	「一人旅」も「同行者と二人以上の旅」にも行った	行った旅行はすべて「一人旅」だった
全体		71.2	19.5	9.4
性・年代別	20～34歳 / 男性	53.6	30.2	16.3
	20～34歳 / 女性	74.8	19.6	5.5
	35～49歳 / 男性	63.8	22.4	13.8
	35～49歳 / 女性	81.3	13.1	5.6
	50～79歳 / 男性	67.2	21.5	11.3
	50～79歳 / 女性	78.4	15.4	6.3
ライフステージ別	独身層	53.6	27.3	19.1
	夫婦のみ層	78.8	17.6	3.6
	ファミリー層	83.9	13.0	3.2
	シニア夫婦層	75.4	17.9	6.7
	それ以外	67.0	19.5	13.5



※ライフステージ別の「独身層」は未婚者、「夫婦のみ層」は20～49歳の既婚者、「ファミリー層」は20～49歳の子供がいる既婚者、「シニア夫婦層」は50～79歳の既婚者

単位 (%)

◇一人旅の理由（複数回答）

<ベース：1次調査集計対象2万人のうち、1年以内に

国内宿泊旅行で「一人旅」に行った人ベース>

		ひとりの方が自由で気楽に旅ができるから	自分の興味を深めるにはひとりの方が適しているから	ひとりでも楽しめるツアーや体験プログラムがあったから	テレビ・本・ネットやクチコミを見聞きして「一人旅」を試してみたかったから	一緒に行く人がいなかったから	旅行したい人とスケジュールが合わなかったから	旅行したい人の計画や調整をするのが面倒だったから	その他
全体		67.0	34.3	7.7	4.9	20.1	16.0	9.6	4.4
性・年代別	20～34歳 / 男性	76.8	40.5	8.8	8.7	21.7	11.8	8.9	1.4
	20～34歳 / 女性	68.4	35.5	6.0	8.3	26.9	17.6	13.4	4.5
	35～49歳 / 男性	76.9	38.7	7.0	5.5	19.2	12.6	8.6	1.1
	35～49歳 / 女性	64.1	34.7	6.5	6.2	24.7	18.2	11.2	3.2
	50～79歳 / 男性	60.6	32.7	7.2	2.8	18.1	17.6	6.5	5.7
	50～79歳 / 女性	60.0	26.9	9.6	2.1	16.8	18.5	12.6	8.2
ライフステージ別	独身層	77.5	39.3	6.1	5.9	26.0	13.3	11.1	2.4
	夫婦のみ層	65.7	30.9	8.5	10.4	15.7	21.6	8.4	3.0
	ファミリー層	59.8	34.3	11.0	8.6	14.6	15.7	7.3	1.8
	シニア夫婦層	57.4	30.0	8.3	2.6	15.5	18.7	9.3	6.9
	それ以外	66.2	28.7	8.9	0.4	20.1	13.5	6.3	8.3

※全体との差が3ポイント以上の項目：網掛け白文字

単位 (%)

TOPIC

都道府県別の延べ宿泊旅行者数と増減

延べ宿泊旅行者数の都道府県別増加率の1位は富山県、9位には石川県もランクイン。ブロック別の増減では、関東から甲信越・北陸への増加が顕著、北陸新幹線効果とみられる。

「延べ宿泊旅行者数の多い旅行先」の上位10都道府県の顔ぶれは、1位の東京都、2位の北海道は前年度と変わらず。3位の長野県、4位の大阪府は数値・順位ともに上昇した。延べ宿泊旅行者数の増加率1位は富山県。9位には石川県が入った。ブロック別にみると、関東から甲信越・北陸への増加が大きく、北陸新幹線延伸の効果がみとれる。また関東からは関西への増加も大きい。

※出張・帰省・修学旅行などによる宿泊旅行は含まない。ただし、友人・知人宅、車中泊、キャンプなど宿泊施設を利用しない場合でも、宿泊を伴う旅行であれば含める
 ※1回の旅行において複数の都道府県に宿泊した場合、それぞれの都道府県に旅行回数1回とカウントしている
 ※1人あたり1年間に行ったすべての旅行回数を尋ねた結果から推計している

◇都道府県別の延べ宿泊旅行者数（推計値）

※上位10都道府県

全体						増減傾向				
2015年度 推計値		順位変動	2014年度 推計値	2013年度 推計値	2012年度推計値	2011年度推計値	15←14	14←13	13←12	12←11
全国	15,313万人		15,110万人	15,599万人	14,505万人	14,686万人	+	-	+	-
1位 東京都	1,675万人	←	(1位 1,702万人)	(1位 1,720万人)	1,659万人	1,453万人	-	-	+	+
2位 北海道	1,069万人	←	(2位 1,064万人)	(2位 1,027万人)	1,025万人	944万人	+	+	+	+
3位 長野県	809万人	↑	(6位 720万人)	(5位 773万人)	785万人	786万人	+	-	-	-
4位 大阪府	776万人	↑	(5位 749万人)	(6位 769万人)	706万人	679万人	+	-	+	+
5位 静岡県	748万人	↓	(3位 770万人)	(4位 831万人)	715万人	787万人	-	-	+	-
6位 神奈川県	727万人	↓	(4位 768万人)	(3位 832万人)	766万人	781万人	-	-	+	-
7位 京都府	625万人	←	(7位 704万人)	(7位 691万人)	656万人	690万人	-	+	+	-
8位 千葉県	622万人	←	(8位 598万人)	(8位 662万人)	573万人	572万人	+	-	+	+
9位 兵庫県	560万人	↑	(11位 499万人)	(9位 567万人)	474万人	525万人	+	-	+	-
10位 福岡県	507万人	↓	(9位 517万人)	(10位 499万人)	474万人	457万人	-	+	+	+

◇都道府県別の延べ宿泊旅行者増加率・

増加数（2015年度-2014年度推計値）

※増加率上位10都道府県

全体		
2015年度←14年度	増加率	増加数
1位 富山県	25.4%	37万人
2位 岡山県	21.4%	35万人
3位 宮城県	16.8%	56万人
4位 埼玉県	15.6%	18万人
5位 山形県	15.3%	26万人
6位 愛知県	14.7%	58万人
7位 茨城県	14.5%	15万人
8位 鳥取県	13.9%	17万人
9位 石川県	12.6%	40万人
10位 長野県	12.4%	89万人

【参考】ブロック別の延べ宿泊旅行者数増減

(2015年度-2014年度推計値)

		旅行先ブロック									
		北海道ブロック	東北ブロック	関東ブロック	甲信越・北陸ブロック	東海ブロック	関西ブロック	中四国ブロック	九州ブロック	沖縄ブロック	
全体	15年度	1,069	1,395	4,001	2,083	1,760	2,492	1,535	1,789	449	
	14年度	1,064	1,316	4,022	1,922	1,761	2,461	1,455	1,843	515	
	13年度	1,027	1,381	4,187	1,972	1,950	2,500	1,462	1,879	496	
	15-14年度増減	5	79	-21	161	-1	31	80	-54	-66	
居住地ブロック	北海道ブロック	-5	4	16	-4	-5	3	4	3	-1	
	東北ブロック	-2	39	-18	7	8	-9	3	4	-6	
	関東ブロック	27	20	-14	119	1	39	-14	-55	-14	
	甲信越・北陸ブロック	-1	12	18	19	17	-13	10	-6	-8	
	東海ブロック	-17	15	-5	20	-6	-3	12	7	-14	
	関西ブロック	2	-16	-10	-8	-6	20	10	-8	-15	
	中四国ブロック	3	4	-29	1	-6	3	20	-10	-2	
九州ブロック	-3	6	23	6	-5	-7	32	2	-4		
沖縄ブロック	-1	-5	-1	1	0	-2	3	9	-2		

※全体増減/～100万人以上：網掛け白文字、+100万人以上：網掛け黒文字 ※ブロック別増減/～30万人以上：網掛け白文字、+30万人以上：網掛け黒文字

【参考】《選んだ理由別 都道府県ランキング》

- 特定のイベントやアクティビティに興味・・・1位：沖縄県
- テレビや雑誌で話題・・・1位：石川県
- 特定の観光地・スポットに興味・・・1位：島根県
- 食・特産品に興味・・・1位：沖縄県
- 良い宿・ホテル・・・1位：大分県
- 魅力的な温泉・・・1位：大分県

北陸新幹線開業でメディアへの露出が増えた石川県が「テレビや雑誌などで話題」の1位。「良い宿・ホテル」と「魅力的な温泉」の2部門で大分県が1位を獲得。

■ 特定のイベントやアクティビティに興味があったから

(単位：%)

2015年度 順位		2014年度 順位	
全体平均	30.4	全体平均	29.6
1位 沖縄県	42.4	1位 沖縄県	41.6
2位 千葉県	41.6	2位 千葉県	41.2
3位 長崎県	40.5	3位 長崎県	41.0
4位 福岡県	38.5	4位 大阪府	40.4
5位 青森県	37.9	5位 東京都	34.7
6位 北海道	36.7	6位 高知県	34.3
7位 大阪府	35.7	7位 宮崎県	34.1
8位 広島県	35.0	8位 長野県	33.9
9位 新潟県	34.9	9位 福岡県	33.7
10位 東京都	34.4	10位 北海道	33.2

■ テレビや雑誌などで話題になっていたから

(単位：%)

2015年度 順位		2014年度 順位	
全体平均	22.0	全体平均	20.5
1位 石川県	42.5	1位 長崎県	33.1
2位 長崎県	39.8	2位 島根県	30.3
3位 島根県	30.6	3位 沖縄県	29.6
4位 富山県	29.3	4位 千葉県	27.4
5位 北海道	28.5	5位 三重県	25.7
6位 沖縄県	27.5	6位 大分県	24.7
7位 千葉県	27.0	7位 北海道	24.6
8位 大分県	26.7	8位 京都府	24.0
9位 青森県	26.6	9位 石川県	23.9
10位 奈良県	26.2	10位 大阪府	23.5

■ 特定の観光地・観光スポットに興味があったから

(単位：%)

2015年度 順位		2014年度 順位	
全体平均	63.2	全体平均	63.0
1位 島根県	82.0	1位 島根県	83.7
2位 長崎県	78.7	2位 長崎県	79.7
3位 奈良県	78.5	3位 奈良県	79.0
4位 沖縄県	77.2	4位 沖縄県	78.7
5位 京都府	75.6	5位 京都府	76.5
6位 和歌山県	75.0	6位 千葉県	74.1
7位 千葉県	72.9	7位 和歌山県	73.8
7位 広島県	72.9	8位 三重県	73.6
9位 鹿児島県	72.2	9位 広島県	73.0
10位 青森県	71.1	10位 高知県	72.8
10位 愛媛県	71.1		

■ そこならでの食・特産品に興味があったから

(単位：%)

2015年度 順位		2014年度 順位	
全体平均	41.3	全体平均	40.1
1位 沖縄県	59.7	1位 沖縄県	57.5
2位 北海道	58.6	2位 北海道	57.4
3位 香川県	58.4	3位 高知県	56.7
4位 石川県	57.4	4位 石川県	56.5
5位 高知県	56.8	5位 香川県	56.4
6位 広島県	54.2	6位 長崎県	53.5
7位 福岡県	52.5	7位 広島県	53.4
8位 宮城県	51.1	8位 鹿児島県	50.9
9位 富山県	50.7	9位 京都府	48.9
9位 熊本県	50.7	10位 富山県	48.7

■ 良い宿・ホテルがあったから

(単位：%)

2015年度 順位		2014年度 順位	
全体平均	48.3	全体平均	47.4
1位 大分県	63.8	1位 栃木県	64.1
2位 静岡県	63.1	2位 佐賀県	62.2
3位 熊本県	61.7	2位 大分県	62.2
4位 栃木県	61.3	4位 静岡県	60.8
5位 群馬県	60.6	5位 群馬県	60.2
6位 和歌山県	58.0	6位 熊本県	58.4
7位 福島県	56.3	7位 神奈川県	57.0
8位 神奈川県	56.2	8位 兵庫県	55.6
9位 三重県	55.1	9位 長野県	54.0
10位 山梨県	54.1	10位 岐阜県	53.2

■ 魅力的な温泉があったから

(単位：%)

2015年度 順位		2014年度 順位	
全体平均	34.9	全体平均	33.2
1位 大分県	76.7	1位 群馬県	72.0
2位 群馬県	71.3	1位 大分県	72.0
3位 愛媛県	66.2	3位 山形県	62.3
4位 熊本県	61.5	4位 愛媛県	61.6
5位 山形県	59.6	5位 熊本県	56.3
6位 栃木県	58.3	6位 秋田県	56.1
7位 鳥取県	55.6	7位 佐賀県	55.6
8位 静岡県	54.9	8位 栃木県	55.4
9位 佐賀県	54.0	9位 岐阜県	53.7
10位 和歌山県	53.3	9位 鹿児島県	53.7

<ランキングの算出方法>

※集計は各都道府県への宿泊旅行件数がベース

①訪問した旅行先を選んだ理由を「当てはまる」「やや当てはまる」「どちらでもない」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の5段階から選択

②「当てはまる」「やや当てはまる」・計の割合が多い順にランキング

■ 地元ならではのおいしい食べ物が多かった

－ 1位：石川県、2位：北海道、3位：沖縄県

1位の石川県は前年度6位から大きく上昇。高知県は前年1位から7位へランクダウン。8位の長崎県、10位の福岡県が新たにベスト10入り。

「海鮮・魚介類」が人気を集めた石川県が1位。「のどろ」「かに」「せいこがに」なども人気。新たにベスト10入りした8位の長崎県は「ちゃんぽん」「海鮮・魚介類」に次いで「佐世保バーガー」も人気。10位の福岡県は「豚骨ラーメン」「長浜ラーメン」「博多ラーメン」などラーメン類に加えて「もつ鍋」「明太子」なども人気だ。

(単位：%)

2015年度 順位	
全体平均	59.0
1位 石川県	76.0
2位 北海道	75.1
3位 沖縄県	74.7
4位 富山県	74.3
5位 香川県	73.4
6位 鹿児島県	73.1
7位 高知県	72.4
8位 長崎県	71.6
9位 広島県	71.5
10位 福岡県	71.4

2014年度 順位	
全体平均	57.9
1位 高知県	77.0
2位 北海道	75.8
3位 富山県	74.8
4位 鹿児島県	74.7
5位 沖縄県	74.2
6位 石川県	73.5
7位 広島県	72.1
8位 香川県	71.2
9位 鳥取県	69.9
10位 熊本県	69.7

■ 魅力のある特産品や土産物が多かった

－ 1位：沖縄県、2位：高知県、3位：北海道

1位沖縄県は2005年度以来連続1位。前年度7位の高知県が2位にランクアップ。「くまもん」人気で5位に熊本県、10位に新潟県が圏外からランクイン。

1位沖縄県では「ちんすこう」「泡盛」「シーサー」などが変わらぬ人気。2位の高知県では「かつお」「かつお加工品」「芋けんぴ」などが人気を集めた。今年度、圏外から5位にランクインした熊本県は「くまモングッズ」が大人気。他、「からしレンコン」や「馬刺し」などのコメントも。10位の新潟県は「日本酒」「地酒」が人気を集めた。

(単位：%)

2015年度 順位	
全体平均	48.8
1位 沖縄県	69.0
2位 高知県	63.7
3位 北海道	62.7
4位 石川県	61.4
5位 熊本県	60.8
6位 青森県	60.7
7位 京都府	60.2
8位 富山県	60.0
9位 鹿児島県	59.9
10位 新潟県	59.3

2014年度 順位	
全体平均	47.4
1位 沖縄県	69.1
2位 鹿児島県	66.1
3位 京都府	62.1
4位 石川県	61.0
5位 北海道	60.4
6位 長崎県	60.0
7位 高知県	59.9
8位 富山県	56.1
9位 青森県	55.9
9位 山形県	55.9

■ 魅力的な宿泊施設が多かった

－ 1位：大分県、2位：沖縄県、3位：熊本県

1位の大分県は前年2位から1位を奪還。熊本県は1ランクアップ。4位の和歌山県、6位の愛媛県、9位の山形県、10位の三重県が新たにベスト10入り。

1位の大分県は、別府温泉や由布院温泉の有名老舗宿などのコメントが目立つ。3位に入った熊本県は湯巡りやコストパフォーマンスの良さ、食事のおいしさなど、魅力的な過ごし方が記載されたものが多い。6位の愛媛県は道後温泉のコメントが圧倒的に多い。10位の三重県は具体的なリゾートホテルの具体的な施設名の記載が目立った。

(単位：%)

2015年度 順位	
全体平均	42.7
1位 大分県	57.4
2位 沖縄県	56.0
3位 熊本県	53.1
4位 和歌山県	52.6
5位 千葉県	51.9
6位 愛媛県	51.8
7位 北海道	51.1
8位 岐阜県	49.3
9位 山形県	48.7
10位 三重県	48.3

2014年度 順位	
全体平均	41.5
1位 沖縄県	59.0
2位 大分県	57.9
3位 千葉県	50.9
4位 熊本県	50.7
5位 神奈川県	49.6
6位 北海道	49.1
7位 群馬県	48.7
8位 岐阜県	48.1
9位 兵庫県	46.5
10位 長野県	46.0

■ 地元の人のホスピタリティを感じた

－ 1位：沖縄県、2位：長崎県、3位：高知県

1位沖縄県は圧倒的なスコア差で2005年度以来連続1位。3位の高知県は前年8位から5ランクアップ。7位の山形県、8位の徳島県、10位に北海道が新たにランクイン。

2位の長崎県は4ポイント上昇し、前年度6位から4ランクアップ。3位の高知県も5ポイント上昇し、5ランク上げた。1位の沖縄県は「優しい」、2位の長崎県、3位の高知県は「気さく」「人当たりがいい」などの回答が目立つ。4位の岩手県は「沿線の人が手を振ってくれた」などの具体的な回答も。10位の北海道は「観光客に慣れている」という評価も目立った。

(単位：%)

2015年度 順位	
全体平均	24.4
1位 沖縄県	46.5
2位 長崎県	34.3
3位 高知県	34.1
4位 岩手県	33.1
5位 鹿児島県	32.0
6位 宮崎県	31.7
7位 山形県	31.6
8位 徳島県	30.7
9位 熊本県	30.5
10位 北海道	30.3

2014年度 順位	
全体平均	23.1
1位 沖縄県	47.2
2位 鹿児島県	34.3
3位 岩手県	31.6
4位 宮崎県	30.8
5位 青森県	30.6
6位 長崎県	30.2
7位 福島県	29.7
8位 高知県	29.0
9位 愛媛県	28.8
9位 熊本県	28.8

■ 子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

－ 1位：千葉県、2位：沖縄県、3位：和歌山県

トップ3までは8連続で同じ顔ぶれ。1位の千葉県は2008年度から連続して1位。5位までが前年と同順位。7位の新潟県が新たにベスト10入り。

有名テーマパークやレジャー施設の具体的な名前が多く挙がる中、1位の千葉県は「ホテル内のプール」や子ども向けスペース、子供向けに作られた部屋についてのコメントがみられたのが特徴。7位の新潟県は「スキー場」「海水浴場」などが多く挙げられていた。

(単位：%)

2015年度 順位	
全体平均	23.4
1位 千葉県	53.2
2位 沖縄県	41.3
3位 和歌山県	39.6
4位 長崎県	35.1
5位 大阪府	30.2
6位 三重県	28.9
7位 栃木県	28.7
7位 新潟県	28.7
9位 北海道	26.0
10位 福井県	25.4

2014年度 順位	
全体平均	23.1
1位 千葉県	57.8
2位 沖縄県	42.4
3位 和歌山県	36.5
4位 長崎県	33.5
5位 大阪府	29.0
6位 福井県	28.6
7位 三重県	27.6
8位 栃木県	27.5
9位 山梨県	26.2
10位 北海道	23.8

■ 若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

－ 1位：千葉県、2位：沖縄県、3位：大阪府

トップ3の顔ぶれは2005年以来変わらず。上位5位までは前年度と同順位。4位の長崎県は数値を大きく伸ばした。三重県が新たに10位にランクイン。

1位の千葉県はテーマパーク、2位の沖縄県はウォーターアクティビティに加えてアウトレットや街での買い物などが人気。4位の長崎県は、テーマパークのイルミネーションや、メディアで多く報道された「軍艦島（端島）」などが新たに人気を集めたようだ。

(単位：%)

2015年度 順位	
全体平均	25.8
1位 千葉県	52.3
2位 沖縄県	49.9
3位 大阪府	41.6
4位 長崎県	37.7
5位 東京都	31.7
6位 和歌山県	28.4
7位 北海道	27.9
8位 神奈川県	27.8
9位 福岡県	27.2
10位 三重県	26.8

2014年度 順位	
全体平均	25.4
1位 千葉県	53.3
2位 沖縄県	49.5
3位 大阪府	43.1
4位 長崎県	34.0
5位 東京都	33.9
6位 福岡県	29.1
7位 神奈川県	28.1
8位 和歌山県	27.1
9位 栃木県	25.9
10位 北海道	25.8

■ 大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

－ 1位：千葉県、2位：沖縄県、3位：長崎県

千葉県が前年2位から1位に返り咲き。3位の長崎県は4位の京都府と入れ替わる形で、ベスト5の顔ぶれには変化なし。10位に北海道がランクイン。

1位の千葉県はポイントを上げて2位の沖縄県を退けた。3位の長崎県は、「若者が楽しめる」同様にテーマパークのイルミネーションや「軍艦島（端島）ツアー」などが人気。10位の北海道は「温泉」や「すすきの」に次いで「五稜郭」「函館山」など函館エリアのスポットが挙げられており、北海道新幹線開通を控えていたため、注目が集まっていたようだ。

(単位：%)

2015年度 順位	
全体平均	39.5
1位 千葉県	55.7
2位 沖縄県	54.8
3位 長崎県	50.7
4位 京都府	49.1
5位 奈良県	46.9
6位 島根県	46.0
7位 大阪府	45.5
8位 和歌山県	43.0
9位 広島県	42.5
10位 北海道	41.9

2014年度 順位	
全体平均	39.2
1位 沖縄県	56.2
2位 千葉県	54.1
3位 京都府	51.1
4位 長崎県	48.6
5位 奈良県	47.5
6位 大阪府	45.5
7位 島根県	45.2
8位 広島県	42.1
9位 神奈川県	41.8
10位 石川県	41.2

■ 現地で良い観光情報
を入手できた

－ 1位：沖縄県、
2位：奈良県、
3位：京都府

島根県、高知県がトップ10
入り。

おすすめの店や名所以外に、お得な買い物方法や地元の文化の由来、観光地の混雑しない時間帯の情報などが挙げられていた。

(単位：%)

2015年度 順位	
全体平均	27.5
1位 沖縄県	46.1
2位 奈良県	41.1
3位 京都府	37.3
4位 青森県	36.9
5位 島根県	35.9
6位 北海道	35.7
7位 高知県	35.5
8位 長崎県	33.7
9位 広島県	33.3
10位 愛媛県	33.2

2014年度 順位	
全体平均	25.3
1位 沖縄県	43.8
2位 奈良県	36.9
3位 京都府	36.0
4位 青森県	34.2
5位 鹿児島県	33.0
6位 北海道	32.3
7位 長崎県	32.2
8位 広島県	31.5
9位 愛媛県	31.1
10位 熊本県	30.8

<ランキングの算出方法>

※集計は各都道府県への宿泊旅行件数がベース

①訪問した旅行先の評価を「そう思う」「ややそう思う」「ふつう」「あまりそう思わない」「そう思わない」の5段階から選択

②「そう思う」「ややそう思う」の割合が多い順にランキング

<コメントの回答方法>

「そう思う」「ややそう思う」と回答した設問に任意でコメント記入

※対象設問：「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」「魅力のある特産品や土産物が多かった」「魅力的な宿泊施設が多かった」「地元の人のホスピタリティを感じた」「子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「現地で良い観光情報入手できた」